

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-231141

(43)公開日 平成6年(1994)8月19日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/21

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 8724-5L

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平5-13884

(22)出願日

平成5年(1993)1月29日

(71)出願人 000233055

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

(72)発明者 稲永 輝基

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社内

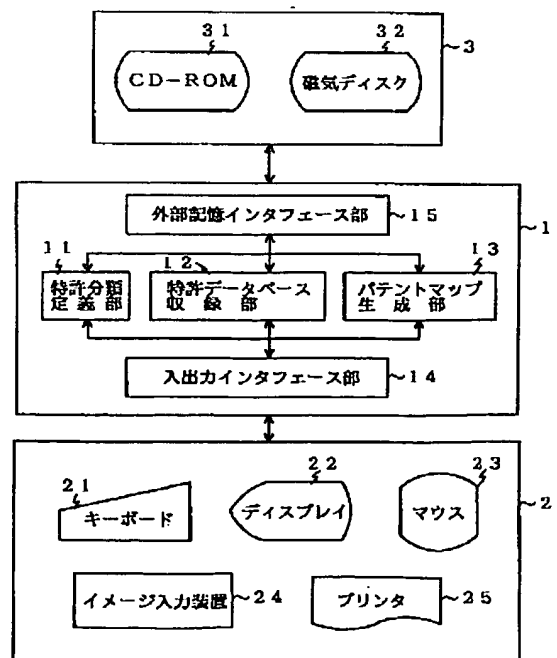
(74)代理人 弁理士 鈴木 誠

(54)【発明の名称】 パテントマップ作成支援システム

(57)【要約】

【目的】 特許情報を分類整理し、所定フォーマットの
パテントマップの作成を効率良く行う。

【構成】 CD-ROM 31 の特許公報から必要な特許
情報を絞り込み、特許データベース収録部 12 に蓄積す
る。このとき特許分類定義部 11 では、IPC 分類を独
自の分類コードに変換して付与する。入力部 2 からパテ
ントマップのフォーマットを決めるパラメータを入力す
る。パテントマップ生成部 13 は、特許データベースを
参照し、指定されたフォーマットに従ってパテントマッ
プを編集して、ディスプレイ 22 に表示する。



BEST AVAILABLE COPY

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パテントマップの作成を支援するシステムにおいて、入力された特許情報に所定の分類を付与する手段と、分類が付与された特許情報を蓄積する手段と、パテントマップのフォーマットを指定する手段と、前記蓄積手段を参照して該指定されたフォーマットに従ってパテントマップを生成する手段と、該生成されたパテントマップを出力する手段とを備えたことを特徴とするパテントマップ作成支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、パテントマップ作成支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】パテントマップは、企業などにおいて技術分野毎の特許出願状況を系統的に整理して研究開発、特許戦略などに活用したり、更には特許出願の事前調査を行う場合に有効な手法であり、特許担当の部署、発明者などによって状況に応じて種々工夫されて作成される。そして、このようなパテントマップを作成するに際しては、技術に精通した経験と、膨大な特許情報の分析とを要し、多大の時間、費用、労力が必要となる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、特許に関する情報は、財団法人日本特許情報機構によって提供されるPATRISやCD-ROM化された特許公報などによって入手することができるが、その利用形態は検索に限定されている。このため、特許担当の部署、発明者などは、検索結果を基にして主に手作業で、必要な形態に加工することによってパテントマップの形で図表化していた。そして、特に技術革新の激しい分野においては、作成したパテントマップの陳腐化が速く、その保守作業にも多大の時間、費用などを必要とするという問題があった。

【0004】本発明の目的は、特許情報を分類整理し、所定フォーマットのパテントマップの作成を効率良く行うパテントマップ作成支援システムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するために、本発明では、パテントマップの作成を支援するシステムにおいて、入力された特許情報に所定の分類を付与する手段と、分類が付与された特許情報を蓄積する手段と、パテントマップのフォーマットを指定する手段と、前記蓄積手段を参照して該指定されたフォーマットに従ってパテントマップを生成する手段と、該生成されたパテントマップを出力する手段とを備えたことを特徴としている。

【0006】

【作用】CD-ROMなどに記録された特許公報から必

要な特許情報を絞り込み、特許データベース収録部に蓄積する。特許分類定義部では、蓄積される特許情報に独自の分類コードを付与する。パテントマップのフォーマットを決めるパラメータが入力されると、パテントマップ生成部では、特許データベースを参照し、指定されたフォーマットに従ってパテントマップを編集して出力する。これにより、特許戦略上で重要なパテントマップの作成を効率良く行うことができる。

【0007】

10 【実施例】以下、本発明の一実施例を図面を用いて具体的に説明する。図1は、本発明のシステムの構成図である。図において、本実施例のシステムは、中央処理装置1と入出力装置群2と外部記憶装置群3とからなっている。中央処理装置1は、独自の分類付与などを行う特許分類定義部11、独自の分類が付与された特許情報（イメージ情報と発明の名称、出願人などの書誌情報）を格納した特許データベース収録部12、分類された特許情報を分析して、パテントマップに必要な情報を抽出処理すると共に、指定のフォーマットのパテントマップを生成するパテントマップ生成部13、入出力装置群2との入出力動作を行う入出力インターフェース部14、および外部記憶装置群3のアクセス制御を行う外部記憶インターフェース部15から構成されている。

【0008】また、入出力装置群2は、キーボード21とディスプレイ22とマウス23とイメージ入力装置24とプリンタ25から構成され、外部記憶装置群3は、CD-ROM（読み出し専用光ディスク）31と磁気ディスク32から構成されている。

30 【0009】図2は、本発明のシステムの処理フローチャートである。図1、2を参照して本発明の動作を説明する。まず、特許分類定義部11は、予め特許情報を独自の体系に整理するための分類情報を登録する。この分類情報の登録はIPC（国際特許分類）と対応させて登録する（ステップ101）。特許データベース収録部12は、特許データベースの収録を行うとき、外部から入手したCD-ROM31化された特許公報などの媒体に対しては、出願日、IPC分類などの検索キーによって収録する情報を絞り込み、不要な情報を排除して特許データベースの容量を節減する（ステップ102、103）。次いで、特許分類定義部11は、収録される特許データベースに対して、自動的にIPC分類を独自分類コードに変換して付与する（ステップ104）。

【0010】特許情報がCD-ROM31ではなく、独自に収集した特許情報については、イメージ入力装置24を介して特許データベース収録部12に蓄積する（ステップ102、105）。そして、特許分類定義部11に登録されている分類情報を入力装置群2のディスプレイ22に呼び出し、選択することによって分類コードを付与する（ステップ106）。

50 【0011】上記した手順で収録された特許データベ

スは、任意の時点でディスプレイ22に表示したり、不要な情報の削除や分類情報の修正を行う。また、技術革新の上で重要な主要発明の場合、後述するように、パテントマップに明示するためのマークを付与する(ステップ107、108)。

【0012】次に、パテントマップのフォーマットを決定するためのパラメータを入出力装置群2からパテントマップ生成部13に入力する。パテントマップは視覚的に見やすいようにディスプレイ22に二次元で表示するために、図表の種類、図表の縦軸および横軸の要素、見出しなどをパラメータとして与える(ステップ109)。その後、パテントマップ生成部13は、特許データベース収録部12を参照して、特許情報を分析、加工処理し、指定されたフォーマットに従ってパテントマップを編集し、ディスプレイ22に表示またはプリンタ25に印刷する(ステップ110)。

【0013】さらに、ディスプレイ22に表示されたパテントマップの構成要素をマウス23を用いて選択することによって、構成要素に含まれる特許情報の一覧(発明の名称などの書誌事項)を表示する(ステップ111)。さらに、この一覧表の構成要素をマウス23を用いて選択することによって、特許データベースのイメージ情報を表示することができる(ステップ112)。

【0014】図3は、本発明によって生成されるパテントマップの一例を示す図である。本実施例のパテントマップ201は、縦軸を特許分類、横軸を時間として構成され、特許分類を大分類202、中分類203、小分類204の3つの分類に並べ、小分類毎に出願された主要発明の特許情報205を時間軸上に並べて表示している。この主要発明の特許情報205としては、発明の名称、出願日、出願番号などが表示される。また、前述したように特に重要な発明についてはマーク206(図においてはハッチングで表す)を付けて表示する。

【0015】これによって、分野別の特許出願状況が時系列に整理されて表示されるので、技術動向を容易に把握することができる。また、パテントマップがディスプレイ22の1画面に全て表示できない場合は、画面をスクロールして表示する。更に、パテントマップを縮小し

て表示することもできる。

【0016】前述したように、小分類204をマウス23で選択することによって、その小分類に含まれる特許出願状況の一覧207が表示される。そして、この表示された一覧の項番をマウス23で選択することによって、特許データベース収録部12に蓄積されたイメージ情報208を表示することができる。

【0017】

【発明の効果】以上、説明したように、本発明によれば、独自分類された特許情報を蓄積する手段とパテントマップのフォーマット指定手段と指定されたフォーマットのパテントマップを生成する手段を設けているので、パテントマップの作成支援が効率的に行われるとともに、パテントマップを用いた技術動向の把握に供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステムの構成図である。

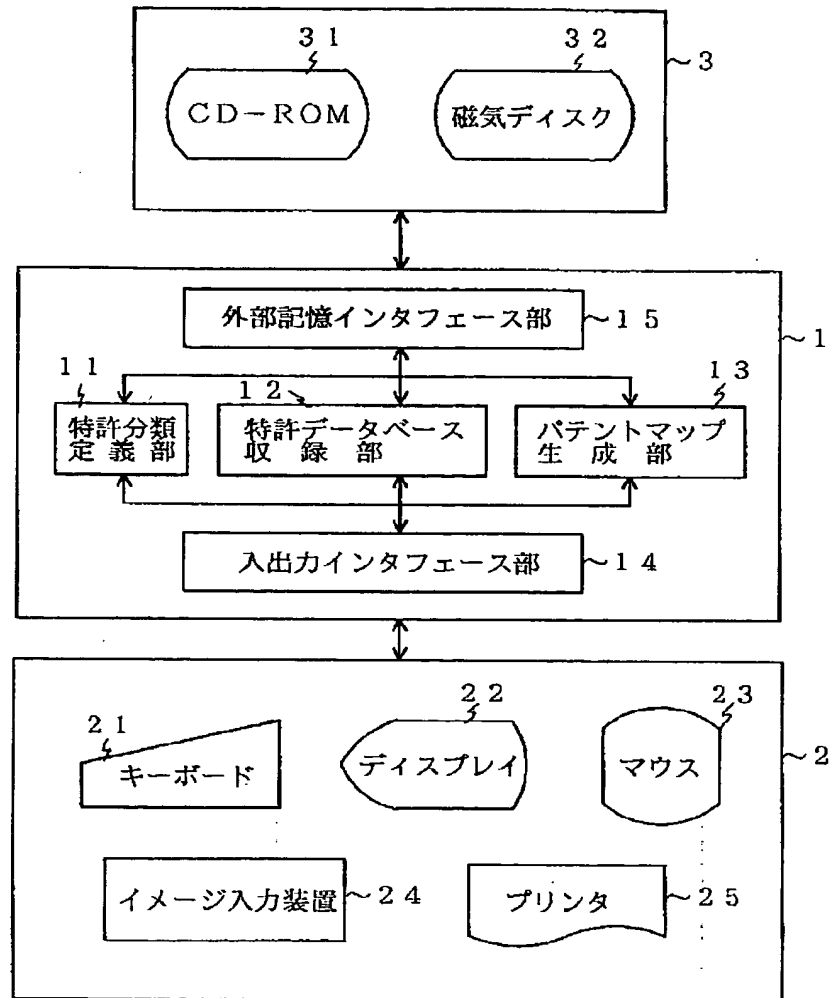
【図2】本発明のシステムの処理フローチャートである。

【図3】本発明によって生成されるパテントマップの一例を示す図である。

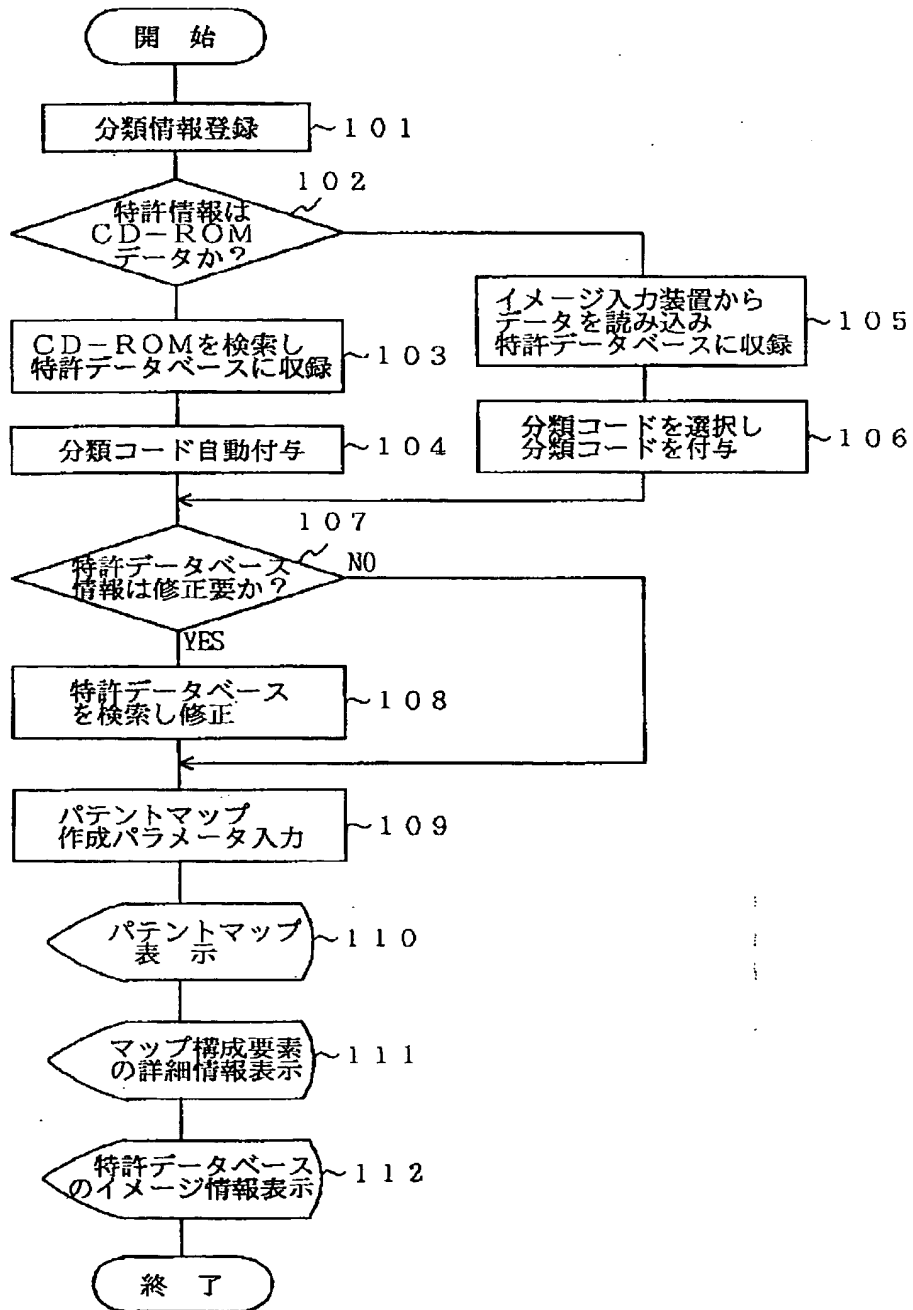
【符号の説明】

- 1 中央処理装置
- 2 入出力装置群
- 3 外部記憶装置群
- 11 特許分類定義部
- 12 特許データベース収録部
- 13 パテントマップ生成部
- 14 入出力インターフェース部
- 15 外部記憶インターフェース部
- 21 キーボード
- 22 ディスプレイ
- 23 マウス
- 24 イメージ入力装置
- 25 プリンタ
- 31 CD-ROM
- 32 磁気ディスク

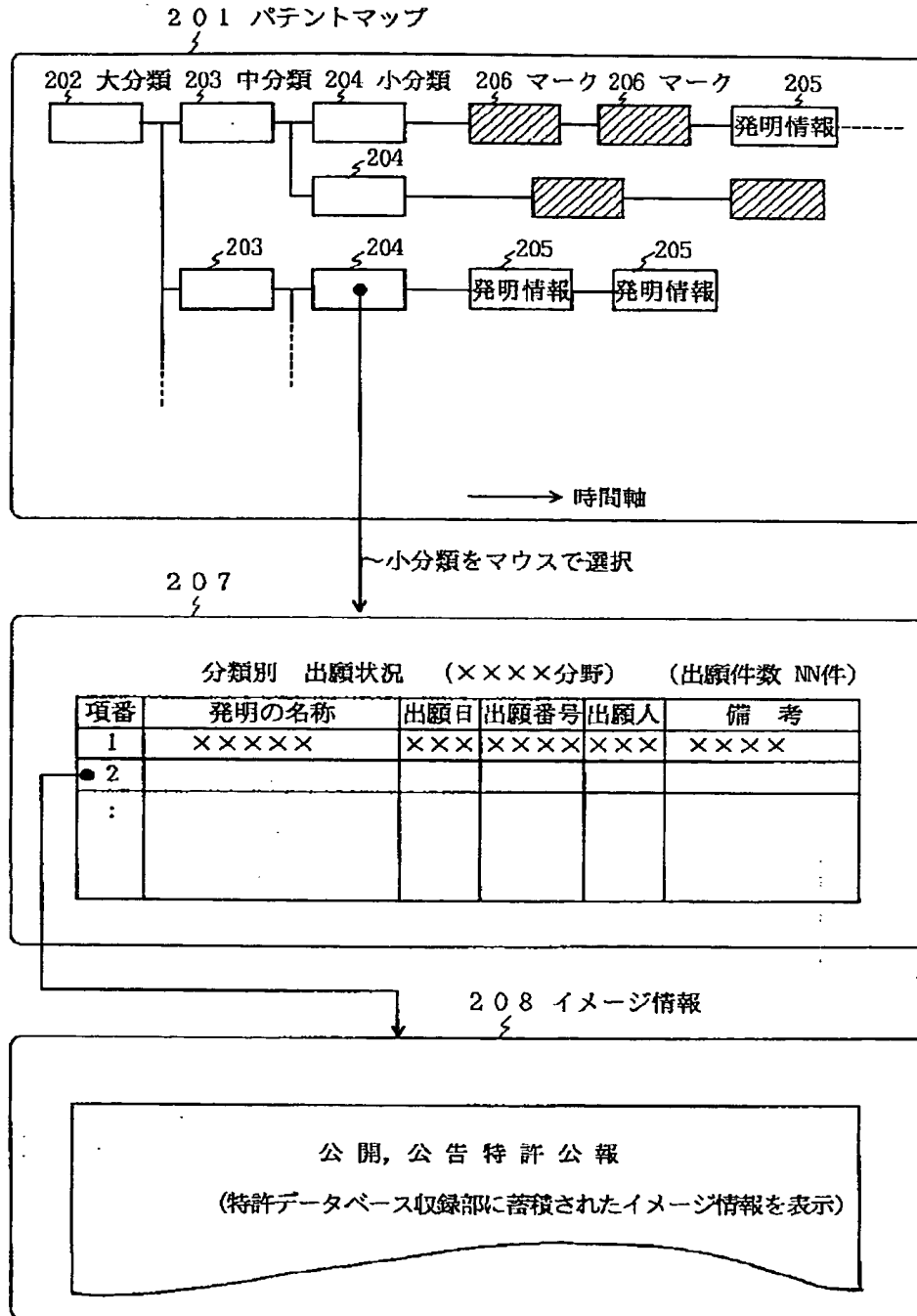
【図1】



【図2】



【図3】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.